

広報あのかわ

合川町広報

No. 226

発行日・51・3・25(2,700)
 発行・秋田県合川町役場課
 編集・企画

わたくしたちの町

人口(男)..... 4,692人
 (女)..... 5,008人
 合計..... 9,700人
 3月中の転入..... 28人
 転出..... 102人
 世帯数..... 2,211世帯
 (3月末日住民登録人口調)

みなさんが選んだ 22名の新議員さん紹介

任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十六日おこなわれ、新人七名を含む二十二名の議員さんが決定しました。
 みなさんが選んだ議員さんはこの四年間町民の代表としてさらによりよい合川町を築くため一層努力することになります。(議席順)

議会人事

議長 庄司博氏 再選
副議長 米倉甚逸氏 再選

改選後、初の臨時議会は、去る四日役場会議室で開かれ、議会の人事構成が決められました。
 議長は議会の指名推薦により庄司博氏、副議長に米倉甚逸氏といづれも再選さ

またこのあと各常任委員会、組合議会等の選出がこなわれ、次のおり人事構成が決定しました。
 (◎印が委員長です)
【総務財政―七名】
【広域市町村圏組合】

◎斉藤孝蔵、松橋三郎、小野義夫、木村恒三、米倉甚逸、三浦淳蔵、高橋与一郎
【教育民生―八名】
 ◎福田一衛、吉田博、桜井良蔵、小笠原勝郎、和田三九郎、成田道胤、金田悦財門、庄司博
【土木経済―七名】
 ◎小林貞雄、高橋仁一郎、松橋彦左エ門、吉田芳雄、坂上隆蔵、木村信夫、伊東紀喜
【衛生組合施設】
 小野義夫、高橋与一郎
【火葬場施設組合】
 坂上隆蔵、伊東紀喜
【監査委員】
 成田道胤

◎高橋与一郎
 四十八才
 下杉
 農業
 無所属
 (新)

◎金田悦財門
 五十三才
 西根田
 農業
 無所属
 (前)

◎福田一衛
 三十八才
 鎌沢
 農業
 無所属
 (前)

◎下杉
 四十八才
 自営業
 公明党
 (前)

◎八幡倍
 四十五才
 駅前
 商業
 無所属
 (新)

◎川井
 五十才
 川井
 農業
 無所属
 (前)

◎川井
 四十五才
 川井
 農業
 日本社会
 党(前)

◎三里
 五十五才
 無所属
 (前)

◎八幡倍
 五十一才
 無所属
 (前)

◎木戸石
 四十七才
 木戸石
 農業
 無所属
 (前)

◎上杉
 三十二才
 無所属
 (新)

◎羽根山
 四十七才
 製材業
 無所属
 (新)

◎新田目
 五十三才
 無所属
 (前)

◎増沢
 四十九才
 塗装業
 無所属
 (前)

◎李岱
 三十四才
 農業
 無所属
 (新)

◎三木田
 三十八才
 無所属
 (新)

◎上杉
 五十八才
 会社社長
 無所属
 (前)

◎李岱
 五十八才
 農業
 無所属
 (前)

◎李岱
 四十四才
 農業
 日本共産
 党(前)

◎李岱
 三十四才
 農業
 無所属
 (新)

◎三木田
 三十八才
 無所属
 (新)

◎李岱
 六十四才
 古美術商
 無所属
 (前)

◎道城
 五十八才
 農業
 無所属
 (前)

◎杉山田
 四十才
 農業
 無所属
 (新)

町辞令

(四月一日付)

【退職】
 調理士 桜田ミサ(南保育園)
 主事補 和田喜美子(教委・合中)
 【任用】
 調理員 福田恵美子(南保育園)
 主事補 桜田良夫(福祉課) 農業委員会へ
 看護婦 福岡チタ(教)

町議会臨時会

土濃塚一郎助役再任に同意



再任された土濃塚助役

町議会の臨時議会は二十六日開会、五十一年度一般会計補正予算案など六議案を原案通り可決。また任期満了に伴う助役に土濃塚一郎助役を再任することに満場一致で同意し閉会しました。一般会計補正予算はこれ

までの予算総額に歳入歳出それぞれ五百五十五万円を追加し、総予算額を十七億二千七百三十五万四千円としたものです。
 歳出の主なもの、南小学校プール建設工事費追加分三百十五万円、参議院補欠選挙費八百八十九万円などとなっております。
 工事契約の締結は合川南小学校の屋内体育館を五千三百九十五万円で合資会社小林組と工事契約するものです。

参議院秋田県選出議員補欠選挙

告示 4月30日
 投票日 5月23日

棄権をなくしてみんなで一票

町長日記から

県営圃場整備事業の換地精算が行われ、多額の金が徴収され、あるいは還付された。還付された人は喜び、徴収された人は渋い顔をした。しかし実際は評価が一般取引より安い標準であるから、金を徴収された人が得をし、金を返された人が損をした計算になるのだが、気分的にはその逆となっているようだ。世の中にはこれに似たことが多くある。目先の導的立場にある人はその責めを負うのが常識とされている。(義)

まがない。公共的な団体が公平になるように努力すればする程、我田引水に欲ばって不公平になるように頑張る人が絶えないから、反動的にバランスがくずれることがある。そのとき、指導的立場にある人が非難されることになるのが厳密にたまたま原因はわか

町営林

春ヤマ作業始まる

町の町営林作業が四月から始まり...



新植され、やがて美林につつまれる日も近い(木戸石地内)



造林作業にも力がこもる

出かせぎされるみなさんへ

季節労働者互助会

農繁期が終るといふことも出かせぎに行かれる方が...

三、償還期間

昭和五十一年九月三十日まで

「刺し子」をはじめ

「刺し子」を

最近ではほとんど見かけなくなってきた...

老人居室整備資金

貸付制度のお知らせ

お申込は五月一日から二十日まで

六〇才以上のおとしよりのある世帯で、居室の増、改築に必要な資金をご利用...

お申込みに必要な書類

- 一、申請書 一通
所得及び資産証明書
申請書と保証人二名、各一通
三、工事見積書(図面を添付のこと) 一通
用紙は福祉課で交付してあります。

社会教育関係人事

- 社会教育委員
高坂八衛、三浦義一、土濃塚イマ、杉淵武一郎、西田道正、正田参良、関源吉、三浦正基、庄司博、伊藤完

- 公民館運営審議委員
飛沢輝文、畠山勇、高坂八衛、鈴木暹、三浦義一、安東長男、米倉甚逸、松橋国雄、土濃塚イマ、杉淵武一郎、正田参良、関源吉、三浦正基、西田

- 道正、松岡松三郎、木村修司、庄司博、伊藤完、福田一衛、土濃塚一郎

- 梅栄 木村栄太郎
弥栄 松岡哲雄
金沢 山田一郎
川井 吉田正一郎、吉田隆、佐藤阿知子、佐藤峰雄

- 隆一、加藤定治、木村忠光
福田 松井常助、鈴木キミエ
新田目 浪岡幸二、齋藤祐一

- 彦、三浦克昭
摩当 金田健市、松橋良三
三三 松橋吉治、松橋農夫男、松橋勉

- 戸籍の謄抄本 通 二〇〇円
除籍の謄抄本 通 三〇〇円
戸籍の記載事項証明 証明事項一件 一〇〇円

昭和三十一年度合川町立合川診療所特別会計予算歳入歳出事項別明細書

Table with 4 columns: 款, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較. Rows include 診療収入, 使用料及手数料, 繰越金入, 諸収入.

Table with 4 columns: 款, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較. Rows include 総務費, 医療費, 公債, 諸支出, 予備.

春の農作業 安全運動実施中

自四月二十日 至五月十九日
一、作業前後に機械施設を十分点検整備をして、作業安全につとめる。

野球場使用料

Table with 5 columns: 区, 分, 園域内団体, 共同使用園域内と園域外団体, 園域外団体. Rows include アマチュアスポーツ, グランド使用料, 施設使用設備料.

◎使用時間に1時間未満の端数を生じた場合は、当該端数を1時間として計算する。

語り継ぎ町民史(二)

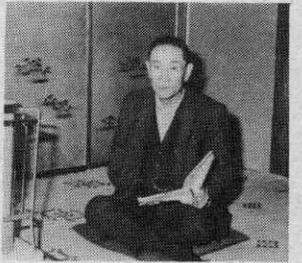
小阿仁の沢に

電気が灯された

加藤喜代治(鎌沢・八十二才)

今から五十六年前、小阿仁の沢に電気がつくといううわさが人びとのあいだにひろがった。

ところが電気というものはどんなものかほとんどの人はわからなかった。阿仁合の発電所から、上小阿仁の仏社の山を越えてくるといって、針金を張り、山を越え谷を渡ってくるといふ事だが誰れも信じない。



第一あの山を越えてくるという事は(けだもの)ではないかなどという話もありました。

初めは、各家々が一率先十燭光の電球がつけられ、ヒモ(コード)を長くしておいて流し場から土間、居間と持ち歩くようにしたものです。

今の人たちからは想像もできない喜びで明るさは「心の明るさ」まで象徴されると思います。

電気余談

三木田 三浦富司

三木田にはじめて電気がついた晩、あるじいさんが「ソニヤ、電気というものは早いもんだナア、かまんさ(鎌沢)さついたらと思っただけや、カサカサと音をた

ててオラ(俺)ほうきもつたでやあ」といったことをおぼえています。

今回は、「語り継ぎ町民史」の第一回目として電気がついた時の話を紹介しました。

春季県北高校野球大会

期日 5月13日~17日
会場 広域合川野球場
参加校 県北15校
入場料 150円

「おじいちゃん おばあちゃん」
小学生の作文から

昨年、老後対策推進委員会を中心に、お互いの老後生活について関心を高め、これまですすめてきた高齢者福祉対策を総合的に体系づけながら、充実した福祉活動の

わたしの おじいさん おばあさん

東小学校三年 せき あけみ



わたしが生まれる一ヶ月前におばあさんが、なくなつたそうです。

今後折にふれてご紹介してゆく予定です。我が子とおとしよりが、お互いにいたわり合ふやさしい心をそだててゆきたいものです。

おじいさん、おばあさん
ごころうさま

西小学校六年 成田美香子



わたしの家の祖母や祖父は、いつも、働いています。

祖母は、だいたいの家にいて、洗たく、さいほう、部屋の中のそうじなど、家事をやっています。

でも、食事のしたくや後しまつの手伝いをしています。

わたしたちが学校に行くときは、とても、うらやましいなあと思っています。

「ごころうさま、おじいさん、おばあさん、おはようございます。」

えらいと思います。わたしにも、祖父の根気強さというものをもっていたらなあと思います。

交通安全
私の誓い
スピードをおさえる心

みんなの広場

地域活動だより

廃物利用と労力奉仕

喜ばれる芹沢梅の木学級

私たちの公民館にも座ぶとんが欲しいとかねてからみんなで話し合っていました。このほど芹沢梅の木学級(代表土濃塚カツさん)では廃物利用と労力奉仕で六十枚の座ぶとんを作り、公民館と神社に置くことにしました。



出来上がった座ぶとんを囲んで。

は部落がいただき中に入られる綿などは自分たちで持ち寄った古い綿を工夫して作られたものです。

普段は町の婦人会長などして忙しい毎日を通して土濃塚イマさんもこの日ばかりは、地域(部落)の人たちと行動を共にし、その出来ばえを喜んでいました。

以前にも少しづつ貯えたお金でうすきを贈っていましたが、「使い捨て時代から節約時代になったわけですが、いよいよ私たちの出番です。これからは頑張りて行きたい」と代表の土濃塚カツさんは張り切っています。

この学級は、小・中学生をもつ両親を対象として開設されたもので、計画的、継続的に自主運営されているものですが、「親子のつどいの時に出されたカレーライスとみんなど一緒に歌をうたったことが忘れられなく、僕(栄耕君合川南小)声張り上げて(民謡講座)

みんなで合唱



(親子のつどいから)

四年)はじゃがいもを作るんだ(ひとりひとね)と張り切っています」と母親の伊藤ミツ子さんは話していました。

継続してやることは大変なことだけれど、これから頑張りたい(伊藤君子さん談)など、この学級は地域に定着しつつあり、他地域からも注目されると同時にこの輪が広がって行くことが大いに期待されています。

おとしよ

桃栄婦人会

桃栄婦人会(代表阿部日出子さん)では、このほど部落の公民館で日頃から子どもや留守をしつかり守って下さっているおばあちゃん方を招待し、日頃の労をねぎらいました。

公民館からは河田先生らが出席し、入植当時の苦勞話や歌つこに花をそえ「合併当初のころは「かいこん」ということで特別扱いされ

健全な子どもの成長をねがって

李岱親の会研修会

三月二十日、時ならぬ猛吹雪であったが、李岱親の会(会長加藤定治さん)で

何回かパーティを開くと張り切っていました。今後の自主的活動が大いに期待されます。

昔の娘さん

全町梅の木学級

全町梅の木学級は、去る三月十三日(来賓(畠山町長)出席のもと公民館で行われました。

土濃塚婦人会長の挨拶のあと、畠山町長は「いよいよ忍耐の時代に入り、これからは梅の木学級生の出席



はじめの研修会を行いました。

午前中は子ども会の役員と新年度の活動計画を決め、午後お父さんお母さん方の研修会をもつたわけですが「親の会の必要性」と「自主的な楽しい子どもたちの地域活動はどうあればよいか」など、じっくり研修し合いました。

電話による少年相談

やまびこ電話開設

秋田県警察本部では、四月十日から少年の勉強のこ

と、友だちや異性のこと、家庭や仕事等の問題についての悩みや、困りごとを電話で気軽に相談できる、

鯉のぼり

感電にご注意!!

鯉のぼりの季節になりました。

例年この時期は、鯉のぼり用による感電事故が多発

芸文協が誕生

会長に伊藤 完氏

芸術文化活動を通じて、合川町文化の普及振興に寄与すると共に、各加入団体の連絡と親睦を図る事を目的として誕生したものです。

設立総会は五月二十九日の予定です。加入希望者は公民館に問合せください。会費は年五〇〇円

直接電話を歓迎するともな、子どもさんのことで悩んでおられる、おかあさんおとうさん方にも親切にご相談に応じます。お気軽にダイヤルしてください。

みなさんのご相談ごとについては、固く秘密が守られます。

なお、やまびこ電話は、

平日 午前八時三十分～午後五時三十分

土曜日 午前八時三十分～正午まで

夜間、休日は留守番電話となりますので、回答を必要とされる方は、差支えなかつたら住所、氏名、電話番号を吹きこんでいただきます。

ありがとうございます

善意のご寄付

次の方々から、故人の香典返しにかえて尊い浄財の寄付をいただきました。

町の社会福祉協議会の活動費に繰り入れ、有効に役立たせることにいたしました。

紙上を通して厚くお礼申しあげます。

(社会福祉法人、合川町社会福祉協議会)

○伊東五助(杉山田)

母・ヲトさんの香典返しにかえて二万円

○松橋秋雄(摩当)

父・兵吉さんの香典返しにかえて一万五千元

○工藤忠太郎(上杉)

母・サトさんの香典返しにかえて三万円

○斉藤富治(新田目)

父・理一郎さんの香典返しにかえて一万円

○関 アイ(上杉)

夫・武さんの香典返しにかえて一万円

○佐藤四郎(木戸石)

母・タカさんの香典返しにかえて二万円

○加藤泰造(鎌沢)

妻・章子さんの香典返しにかえて二万円

今のところ部門は、書道、詩吟、俳句、盆裁、読書、茶道、箏曲、民謡、音楽、短歌、踊、写真

等が発足する予定です。

かえて二万円

また、木戸石寿クラブから合川北小学校に雑布百二増沢寿クラブから合川北保育園に雑布五十枚の寄贈がありました。

ありがとうございました。

厚くお礼申しあげます。

ありがとうございます

町出身の方から、このほど「広報 郵送の謝礼」として金一封をお贈りいただきました。

紙上を通して厚くお礼申し上げます。

鎌倉市稲村々崎 吉田 清

慶弔だより

自三月十一日 至四月十五日

○おめでとうご健康をお祈りいたします

三浦貴臣・五郎長男(三木田)、工藤真弓・光信長女(上杉)、三浦清和・清一長男(三木田)、三浦咲子・敬一郎二女(三木田)、藤島千春・元長女(木戸石) 安部恵里子・修治長女(新田目)、関弘美・輝男長女(上杉)、高橋泉・久則長女(八幡岱)、金田成・範一(二男(西根田)、後藤了俊・健一長男(下杉)

●謹んでごめいふくをお祈り申し上げます

伊藤ヲト・五助母(杉山田)、工藤サト・忠太郎母(上杉)、加藤章子・喜代治長男の妻(鎌沢)、斉藤理一郎・本人(新田目)、関 武・本人(上杉)、佐藤タカ・四郎養母(木戸石) 桜井良夫・本人(下杉)

公民館のひろば

みんなで楽しく学習

町民講座閉講

ダンス同好会もできる趣味と実益をかね楽しく学習してもらおうと昨年十二月から開設されていた町民講座は三月に閉講(社交ダンスは四月)されましたが、この講座はすでにご紹介のように生活技術講座として、あみもの、和裁、そ

の他詩吟、社交ダンス、民謡、調理など六講座で受講者は併せて百十余名にもなりました。受講生にはそれぞれ修了証が渡され四ヶ月間にわたる講座を閉じました。特に詩吟講座には、学習意欲が旺盛とあってテープコーダーを持参で熱心に学習され、その得意のノドが聞かれる日も遠くないと思われま

又、社交ダンス講座では



ラストダンスのあとダンス同好会を作り会長に成田良信さん(李岱)を選びもつて多くの人に呼びかけて年